

令和6年9月20日



「スポーツをする、みる、知る、支えるの観点を
体育や体育的行事に取り入れた実践例」

神奈川県立新羽高等学校 保健体育科教諭 中嶋成



自己紹介

中嶋 成 (なかしま じょう)

神奈川県立新羽高校 保健体育科

教員歴: 3年目

専門: 陸上競技

陸上競技部顧問



テーマ設定の理由

・新羽高校の運動・スポーツの

実施状況や意識に課題があるため



本研究の目的

①新羽高校の運動・スポーツの課題を明確にする。

②新羽高校の運動・スポーツの課題解決のためにどのような取り組みをすべきか具体的な取り組みを考える。



現代の「スポーツ」との関わり方

新学習指導要領では、「する、みる、知る、支えるのスポーツとの多様な関わりの必要性や公正、責任、健康、安全等、態度の内容が身にについている。」と示されている。



体育の授業や体育的行事でも「する」だけではなく、

「みる」「知る」「支える」といった観点から生徒に参画させることがこれから求められる。

その結果、体育・スポーツ嫌いを減らせるのではないか。

1年目の取り組みと成果

新羽高校の運動・スポーツに対しての意識・習慣調査

・調査方法

Google Formsによるアンケート調査

・対象

新羽高校生679人(男子:303人、女子:375人)

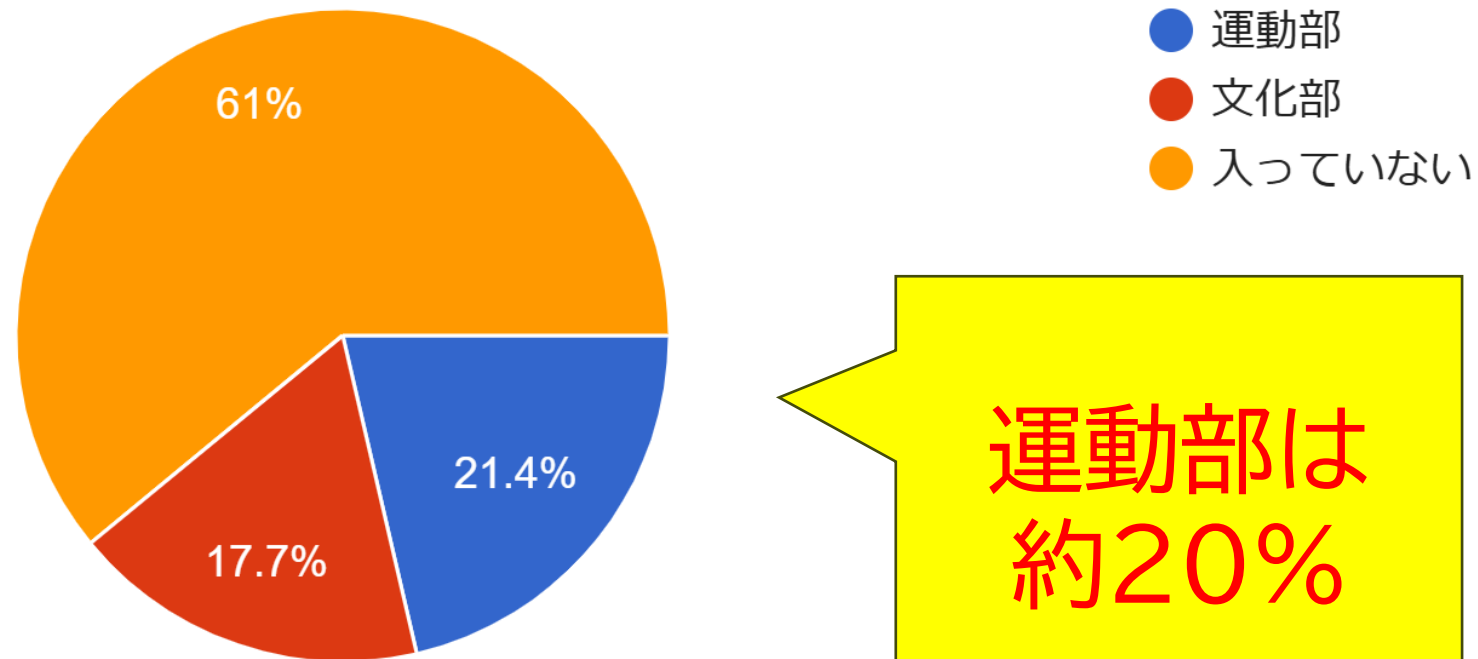
・期間

令和5年度3月22日

1年目の取り組みと成果

部活動に所属していますか？

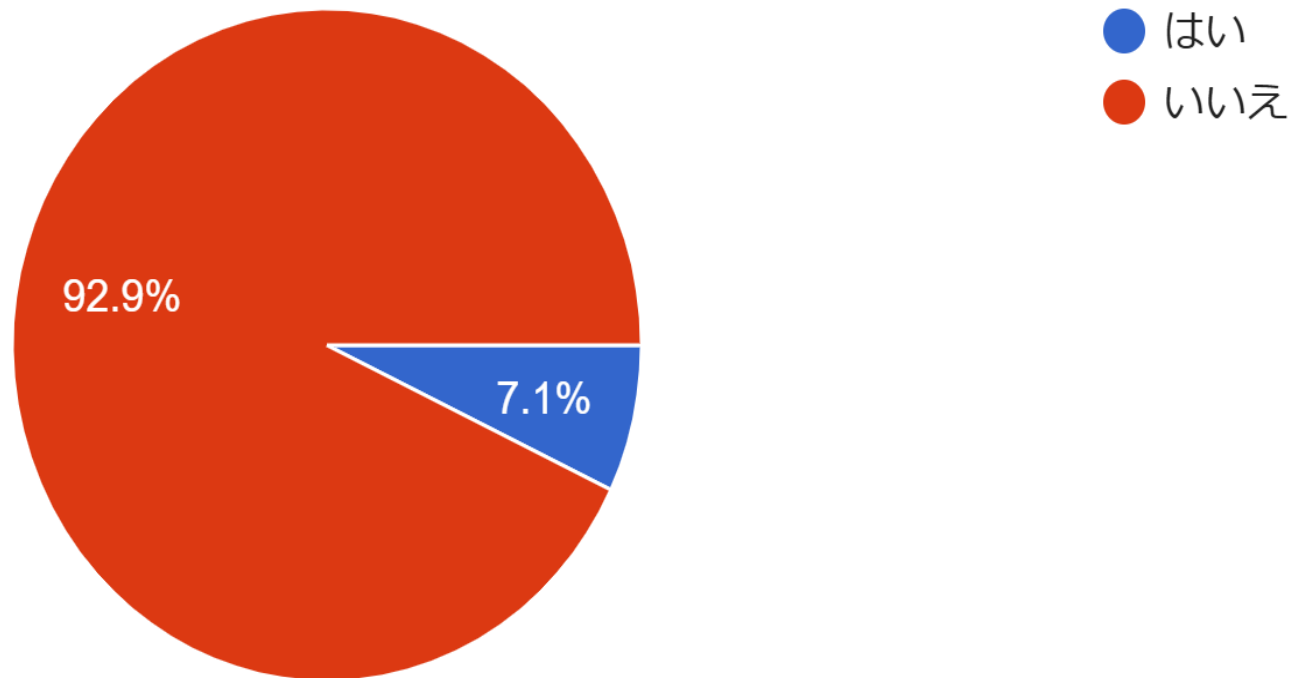
679 件の回答



1年目の取り組みと成果

学校外でクラブチームに所属したり、運動やスポーツに関わる習い事を行ったりしていますか？

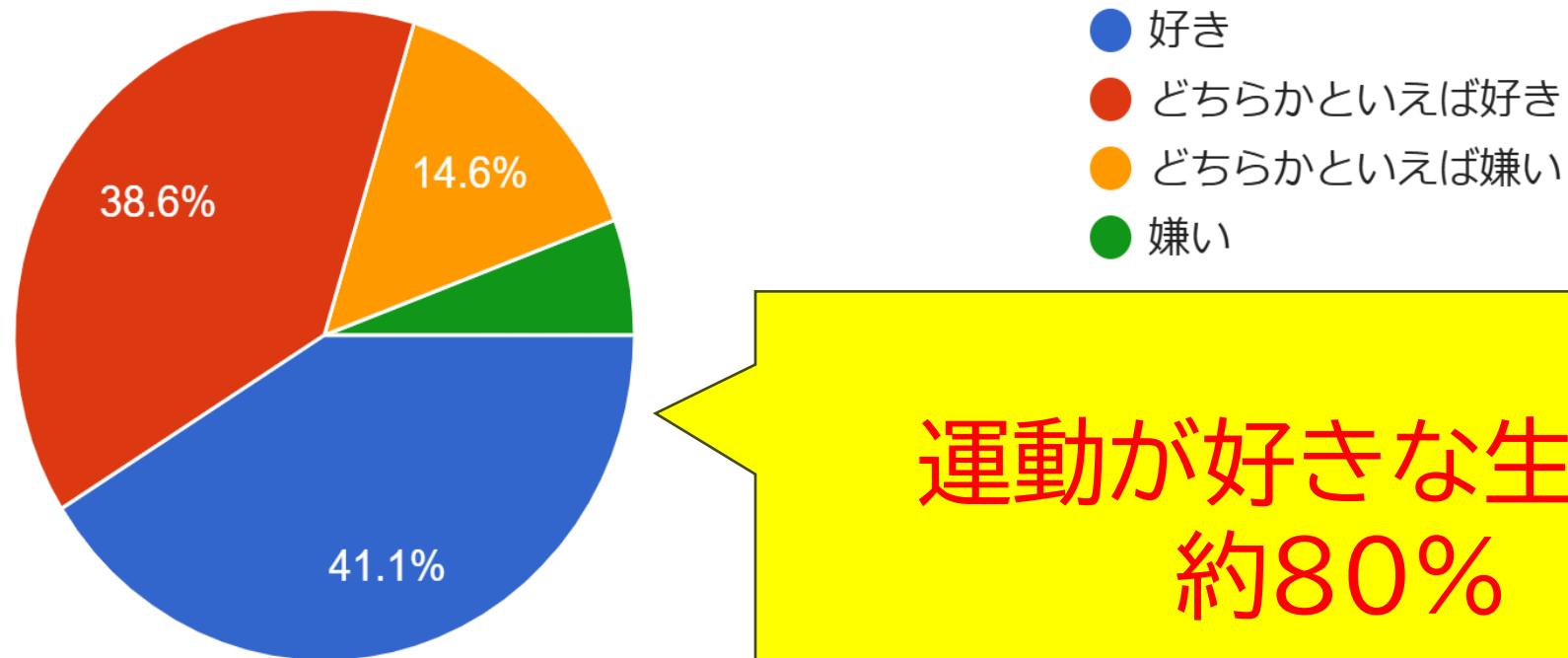
679 件の回答



1年目の取り組みと成果

あなたは体を動かすことが好きですか？

679 件の回答

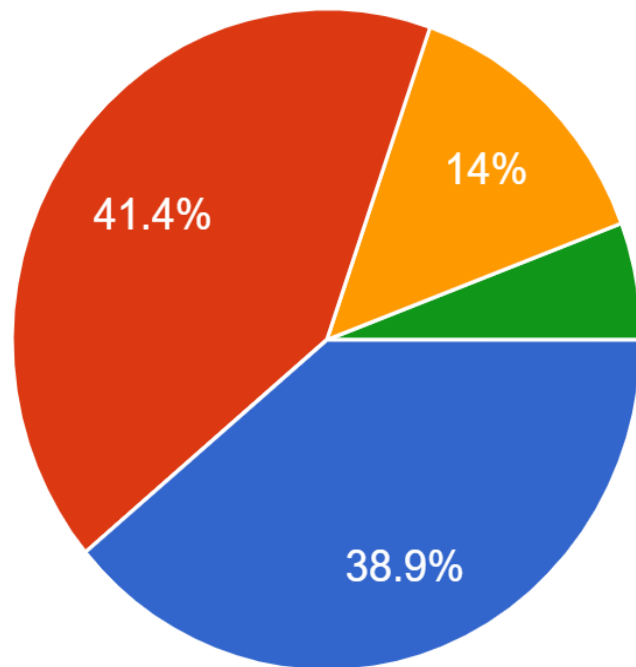


運動が好きな生徒は
約80%

1年目の取り組みと成果

あなたは学校の体育の授業が好きですか？

681 件の回答



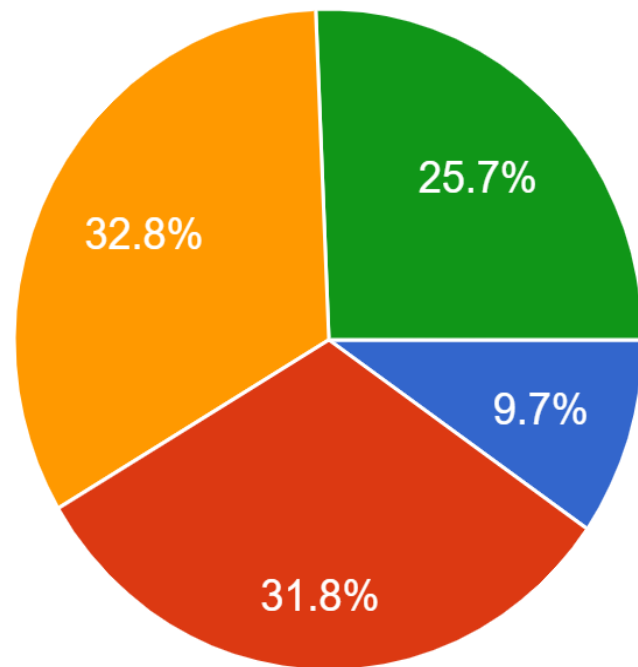
- 好き
- どちらかといえば好き
- どちらかといえば嫌い
- 嫌い

体育の授業が好きな生徒は約80%

1年目の取り組みと成果

あなたは運動能力や体力に自信がありますか？

682 件の回答

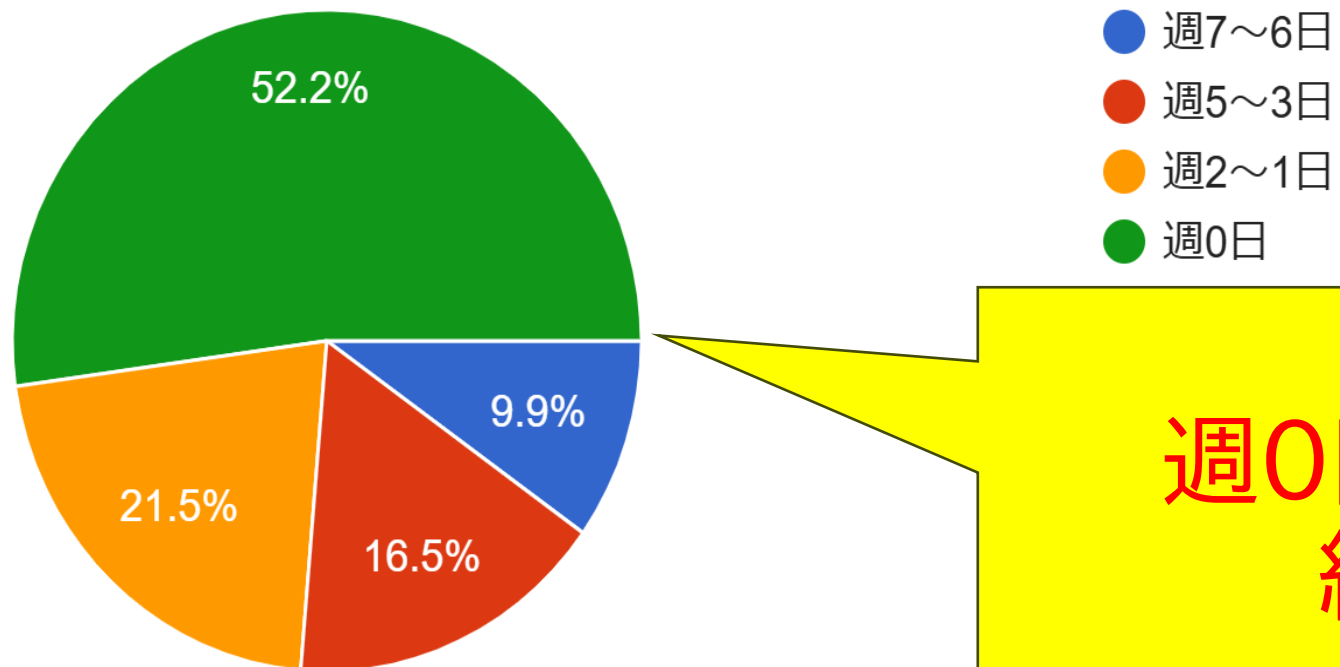


- 自信がある
- どちらかといえば自信がある
- どちらかといえば自信はない
- 自信はない

運動や体力に自信がある
生徒は40%

1年目の取り組みと成果

あなたの1週間の運動、スポーツの実施状況を教...部活動や習い事、クラブチームでの活動を含む)
680件の回答

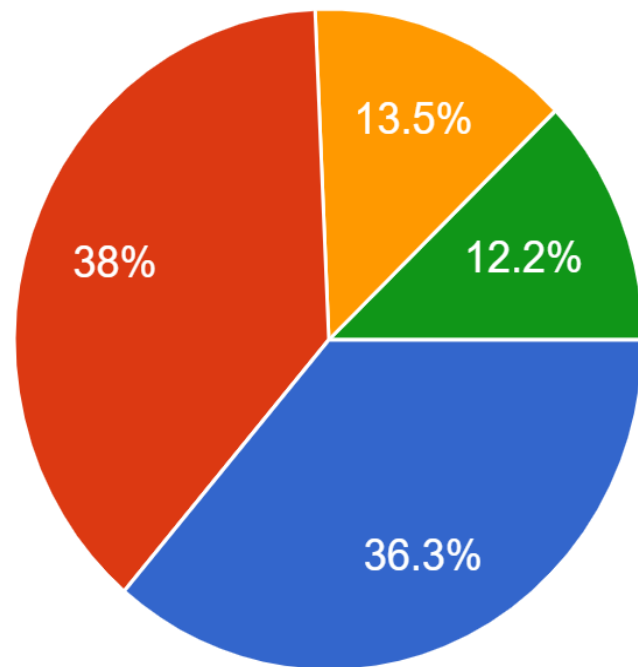


週0回の生徒は
約50%

1年目の取り組みと成果

現在あなたは運動不足を感じていますか？

681件の回答



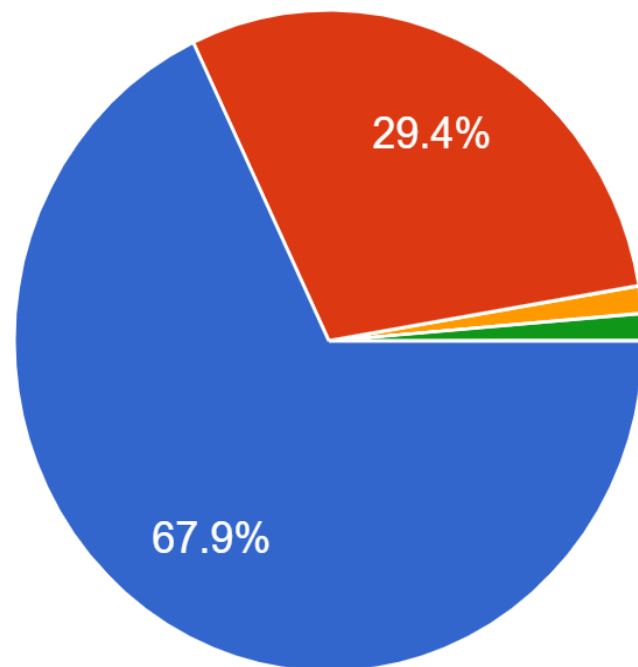
- 感じている
- どちらかといえば感じている
- どちらかといえば感じていない
- 感じていない

運動不足を感じている
生徒は約70%

1年目の取り組みと成果

人生において運動やスポーツを実施することは大切だと思いますか？

676件の回答



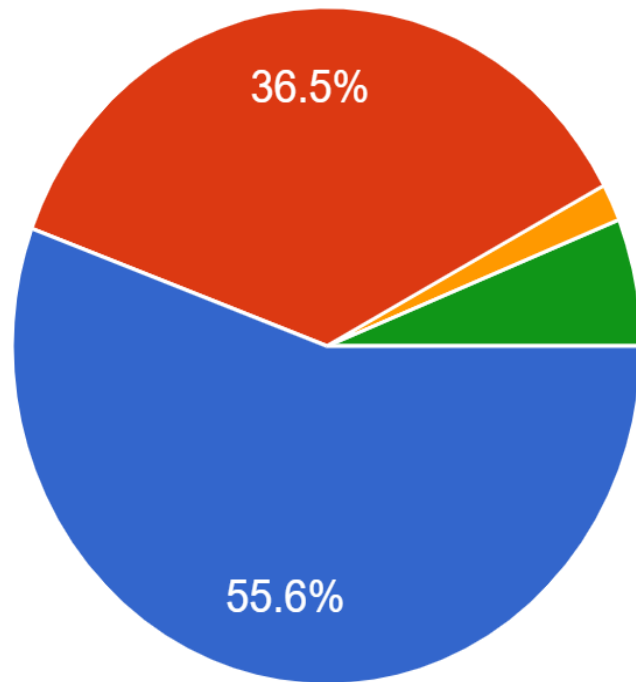
- 大切だと思う
- どちらかといえば大切だと思う
- どちらかといえば大切だと思わない
- 大切だとは思わない

運動を大切だと感じている生徒は約95%

1年目の取り組みと成果

スポーツの関わり方は様々ですが、あなたが最も...、興味のある関わり方を一つを教えてください。

674 件の回答



- 「スポーツを实际にする」 (実際に自分がプレイヤーとしてスポーツを行うこと)
- 「スポーツをみる」 (会場やテレビ、ネットでスポーツをしている人を観戦したり、応援すること)
- 「スポーツを知る」 (スポーツについての歴史を学んだり、動きを分析したり...)
- 「スポーツを支える」 (会場設営、チケット販売、運営、ボランティア活動な...)

新羽高校の運動・スポーツの課題は何か？

①体を動かすことや体育の授業は好きな生徒が多いが、
運動やスポーツを「する」ことに対しての自信がない生徒が多い。

②運動不足や感じていたり、運動の重要性を理解している生徒は多いが、
機会が無かったり、何をどう実施すべきかわからない生徒が多い。

③運動やスポーツを「する」ことに加えて
「観る」、「知る」、「支える」に関心を持っている生徒が多い。



課題解決のための具体的な取り組み

体育祭での流行を意識したダンス発表会

(新羽高校はSNSに力を入れている生徒や流行に敏感な生徒が多い)



- 運動やスポーツに対してのハードルを下げる。
- 運動やスポーツを「する」だけではない楽しさを感じてもらう。

課題解決のための具体的な取り組み

方法

①全学年を男女で分けて、それぞれ別の踊りを踊る。

※男子「第ゼロ感」、女子「ティックトック詰め合わせ」

②振り付けは教員で考え、体育の授業やLHRで覚える。

③本番は、上から動画を撮り、一つのshort動画を完成させる。



ダンス発表会を行った結果

事後アンケートにより生徒の意識がどう変わったか。

・調査方法

Google Formsによるアンケート調査

・対象

新羽高校生281人(男子:89人、女子:192人)

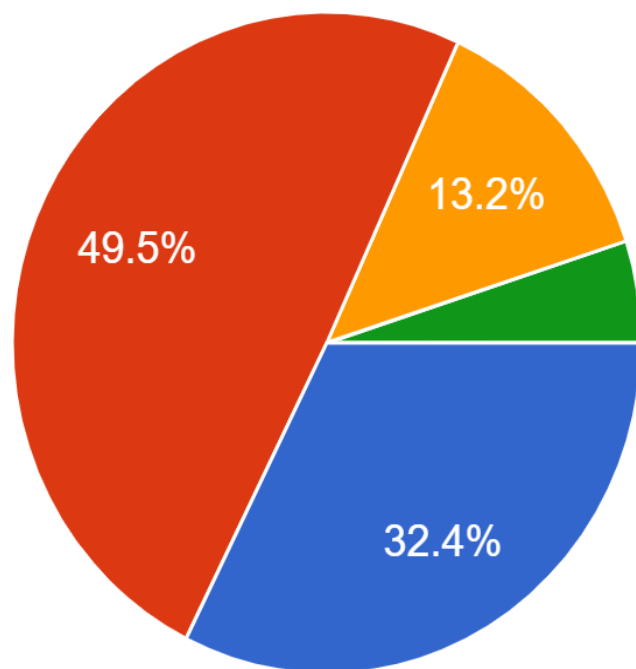
・期間

体育祭が終わってからの一週間

ダンス発表会を行った結果

各団対抗ダンスバトルの感想を教えてください。

281 件の回答



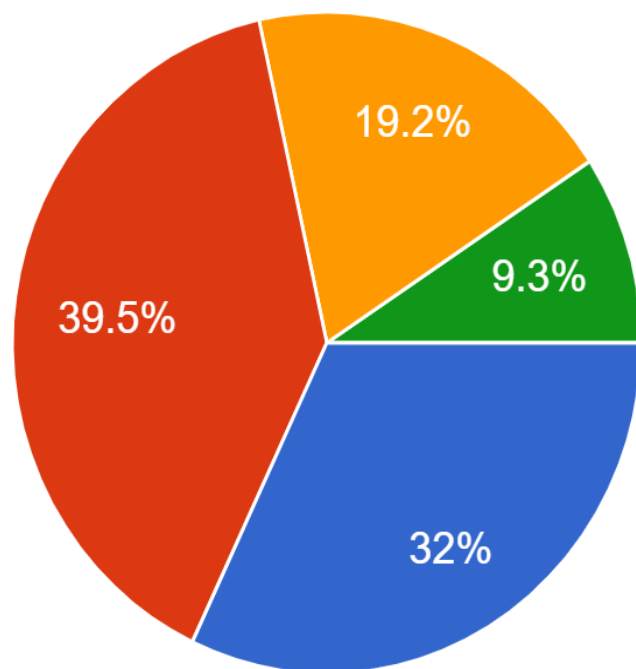
- 楽しかった
- まあまあ楽しかった
- どちらかといえば楽しくなかった
- 楽しくなかった

楽しかったと答えた
生徒は80%

ダンス発表会を行った結果

来年も今年のようなダンスバトルもしくは、パフォーマンス形式の競技をやりたいですか？

281 件の回答



- やりたい
- どちらかと言えばやりたい
- どちらかと言えばやりたくない
- やりたくない

来年も行いたいと
感じている生徒約70%

考察

① 全員で何かをしたり、作ったりすることで楽しめる生徒が増えるのではないか。(単体や個人種目よりも)

② SNSや流行の話題を運動やスポーツに取り入れると取り組みやすくなる傾向があるのではないか。



結論

①新羽高校の運動・スポーツの課題を明確にする。

苦手意識がある、自信がない、関心がない、取り組みたいけど取り組み方がわからない、といった生徒が非常に多いことが分かった。

②新羽高校の運動・スポーツの課題解決のためにどのような取り組みをすべきか具体的な取り組みを考える。

→SNSを使った作品作り、流行を取り入れた授業の工夫を行い、生徒がより運動やスポーツに親しみやすくしていく。

今後の展望

体育祭だけでなく、普段の体育の授業でもSNSを使った作品作り、流行を取り入れた授業の工夫を行い、生徒がより運動やスポーツに親しみやすくしていく。

具体的には・・・

- ・ダンスの授業でダンス練習 → 動画撮影 → 編集をさせる。
- ・スポーツについて調べ、そのスポーツを紹介する動画を作成する。

本研究を通じて感じたこと。

そのため、**体育の授業や体育的行事にどう生徒が積極的に参加し、楽しめるかを今まで以上に教師が考えなければいけない**と感じた。



ご清聴ありがとうございました。

